

令和3年度
公益事業報告書

公益財団法人 桐生地域地場産業振興センター

1. 創業促進・支援事業（桐生市インキュベーションオフィス運営・管理）

（1）事業概要

桐生市の中心商店街にある東武本町ビルを借り上げてインキュベーションオフィスを開設、創業間もない起業者（入居者）に対し、企業支援コーディネーター（インキュベーションマネージャー）等による支援及び、企業の発展（安定）と雇用の創出等に向けた支援を行いました。

また、地域産業の活性化を図るため、ものづくりで創業を目指す起業家や若手経営者等に対して、多角的な面からの支援も行いました。

なお、本年度は新たに1社の入居し、2社の卒業（退室）がありました。

令和3年度 卒業（退室）企業

S-1 王桐（インターネット広告）

301 （一財）国際市民・文化支援事業団（国際交流・支援事業）

令和3年度 入居企業

S-2 ひのさかメディカルワークス（同）（医療系サービス業）

インキュベーションオフィス入居者（3/31 現在）

Aタイプ（約10㎡）

S-2 ひのさかメディカルワークス（同）（医療系サービス業）

S-4 （同）Creation Allows（スマホ教室運営）

Bタイプ（約20㎡）

203 S c a l a（情報通信・ソフトウェア開発業）

302 （株）F I T（電子部品製造販売業）

306 （株）G C S（工業部品販売業）

308 設備改善アシスト（建築設備関係サービス業）

以上 6社

（2）事業収支

（単位：円）

収入の部		支出の部	
桐生市補助金	7,520,000	管理運営費	6,520,278
負担金（入居者ほか）	3,435,826	委託費	2,640,880
		臨時雇用費	1,063,050
		福利厚生費	7,590
		謝金	0
		桐生市補助金戻入	724,028
計	10,955,826	計	10,955,826

2. 桐生テキスタイルプロモーションショー（TPS）開催事業

(1) 事業概要

桐生地域の基幹産業である「繊維」の総合見本市を実施しました。

具体的には、専門家を招聘し、トレンドを先取りしたコンセプトテーマの設定から販路開拓に必要な効果的な展示方法の指導及び、商品開発情報の提供など、総合的な指導を仰ぎながら、産地全体としての取組みによる成果発表会を 3月9日（水）・10日（木）ベルサール渋谷ガーデンにて開催しました。

なお、出展企業（団体含む）27社は、2日間で801人の関係者を迎えることができ、新規の商談を活発に行うなど、今後の販路拡大が期待されます。

2022 桐生テキスタイルプロモーションショー東京展

日 時 令和 4年 3月 9日（水）・10日（木）2日間 10:00～19:00（17:00）
会 場 ベルサール渋谷ガーデン B1F C HALL（東京都渋谷区南平台）
入場者数 801人（前回 738人）

〔内 訳〕

商社・問屋	312名	39.0%
アパレル	240名	30.0%
小売業	72名	9.0%
原糸メーカー	24名	3.0%
報道・マスコミ	23名	2.8%
一般・学生・その他	130名	16.2%
合計	801名	100.0%

メゾン情報等の提供（情報収集提供事業との連携）

日 時 令和 4年 2月 25日（金）14:00～15:30
テ ー マ コロナ禍で変わったクリエイターたちの世界、アフターコロナのファッションの行方
講 師 小川 雅代（株インファス・ドットコム 映像制作部 契約プロデューサー）
会 場 地場産センター 2階「研修室」
参 加 者 11名

実施委員会及び、後援・協賛団体

桐生テキスタイルプロモーションショー委員会

委員長 三田 章浩 ((株)ミタショー 代表取締役)

洋装実行委員長 金子 俊之 (トシテックス 代表)

和装実行委員長 高橋 康郎 ((有)高光織物工場 代表取締役)

後 援 群馬県、桐生市

協 賛 桐生市繊維振興協会、桐生織物協同組合、桐生商工会議所

(2) 事業収支

(単位：円)

収入の部		支出の部	
桐生市補助金	7,200,000	会場整備費	3,240,880
群馬県補助金	3,500,000	委託費	3,143,480
負担金(事業参加)	1,688,500	会場借料	3,000,000
〃(その他)	10,000	広告宣伝費	1,391,500
法人会計からの繰入金	5,986	印刷製本費	631,950
		通信運搬費	563,749
		消耗品費	158,134
		旅費交通費	133,410
		臨時雇用費	118,800
		会議費	22,583
計	12,404,486	計	12,404,486

3. 人材育成等支援事業

(1) 事業概要

企業にとって人材養成は重要な問題でありながらも、中小企業単独では実施が困難な状況にもあることから、企業の発展及び経営基盤の安定を図るため、以下の3テーマの研修会を実施しました。

① 桐生繊維大学

桐生繊維大学は、次代の繊維業界を担う人材育成のため、繊維における川上から川下までの広い知識を習得し、実践の場に役立つ知識の習得を図ることを目的に開催しました。

[基礎講座]

日程・テーマ（講師名）

9月 7日（火）開校式／オリエンテーション

9月 14日（火）最近の繊維産業の動向（群馬県立繊維工業試験場 研究調整官 篠原 正人）

9月 16日（木）撚糸（群馬県立繊維工業試験場 生産技術係長 齋藤 宏）

9月 21日（火）化学繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）

（群馬工業高等専門学校 名誉教授 小島 昭）

9月 28日（火）産地の構成と特色（織物・編レース・縫製・染色整理・刺繍の各業界関係者）

10月 5日（火）天然繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）

（群馬工業高等専門学校 名誉教授 小島 昭）

10月 7日（木）加工技術（群馬県立繊維工業試験場 企画連携係長 久保川 博夫）

10月 12日（火）染色の基本／染色実習①（群馬県立繊維工業試験場 素材試験係）

10月 19日（火）堅牢度試験 実習（群馬県立繊維工業試験場 素材試験係）

10月 21日（木）伝統織物と組織について（桐生織伝統工芸士会 会長 泉 太郎）

10月 26日（火）染色実習②（群馬県立繊維工業試験場 素材試験係）

11月 5日（金）繊維工学の基礎とTopics①（信州大学 繊維学部 教授 木村 裕和）

11月 9日（火）品質管理（群馬県立繊維工業試験場 研究調整官 篠原 正人）

11月 16日（火）複合繊維について（ミマス株、カワボウテキスチャード株）

11月 26日（金）繊維工学の基礎とTopics②（信州大学 繊維学部 教授 木村 裕和）

11月 30日（火）織機・機仕掛けについて（岡部機拵所 所長 岡部 克己）

12月 8日（水）展示会視察 ジャパンクリエーション（会場：東京国際フォーラム）

12月 15日（水）工場視察 桐生地域内工場視察（織物・編レース・染色整理・刺繍）

1月 18日（火）マーケティング①（有シナジープランニング 代表 坂口 昌章）

1月 25日（火）マーケティング②（有シナジープランニング 代表 坂口 昌章）

2月 1日（火）マーケティング③（有シナジープランニング 代表 坂口 昌章）

2月 8日（火）閉校式

時 間 18:00～20:00（講義によっては、13:30～16:30）

参加者 10名

② 強靱な管理者・真のリーダー育成研修（管理者・リーダー育成研修）

企業における真のリーダーを育成するため、研修会では具体的な事例に基づいたグループ討議の時間を多く設け、問題解決及び部下の育成についての的確にアドバイスをを行い、リーダーや管理者に必要な知識の習得を目的に開催しました。

内 容	I. グループワーク中心で臨場感溢れる講義 II. マネジメントに必要な技法の習得 III. 基礎力の再確認によって更なるレベルアップ
日 時	令和 3年11月11日（木）・12日（金） 2日間 10:00～17:00
講 師	葛田 一雄（(株)ケイツーマネジメント 代表）
参加者	6名

③ 品質管理研修

製造現場における品質管理の進め方を学び、顧客満足度アップ及び企業の体質強化を図ることを目的に開催しました。

内 容	I. お客様に満足されるモノづくりに向けて II. 品質コストの考え方（品質・コスト・納期の最適バランス） III. 統計的品質管理手法の種類と有効性 IV. 統計的品質管理手法の使い方と実践演習（1） V. 統計的品質管理手法の使い方と実践演習（2）
対象者	「品質管理」を導入しようと考えている企業の従業員
日 時	令和 3年11月18日（木）・25日（木）・12月 2日（木）・9日（木）・16日（木） 5日間 9:00～12:00
講 師	岡島 芳明（ケーイー・ソリューションズ(株) 代表取締役）
参加者	7名

(2) 事業収支

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
桐生市補助金	1,020,000	謝 金	1,054,900
負担金 (研修参加)	444,400	消耗品費	178,153
法人会計からの繰入金	497	旅費交通費	126,100
		通信運搬費	86,396
		会 議 費	10,372
		会場借料	5,676
		印刷製本費	3,300
計	1,464,897	計	1,464,897

4. 情報収集提供事業

(1) 事業概要

桐生地域全体の活性化には、地域内個々企業の活性化が不可欠であり、また、各種情報の有無が企業経営に左右することから、経営戦略や各種新商品開発にかかわる情報を収集提供しました。

具体的な内容としては、①トレンドセミナーの実施、②世界の民族衣装展の開催、③その他（桐生市染織資料の保管（燻蒸）等）を必要に応じて実施しました。

トレンドセミナーでは、桐生テキスタイルプロモーションショー開催事業との連携によりセミナーを展開、市場の動向及び新商品開発における参考資料等を提供したほか、民族衣装展では地域内企業に対し各種デザインソースの提供等を行いました。

① トrendセミナー（桐生テキスタイルプロモーションショー（TPS）開催事業との連携）

日 時 令和 4年 2月 25日（金） 14:00～15:30
 テーマ コロナ禍で変わったクリエイターたちの世界、アフターコロナのファッションの行方
 講師 小川 雅代（株インファス・ドットコム 映像制作部 契約プロデューサー）
 会場 地場産センター 2階「研修室」
 参加者 11名

② 世界の民族衣装展

I. 台湾（令和 3年 6月 15日（火）～ 7月 18日（日）開催）
 II. インド（令和 3年 10月 19日（火）～ 11月 21日（日）開催）

③ その他

- ・民族衣装展 見学の受入れ（未来創生塾「わが街発見！文化編」令和 3年 11月 14日（日））
- ・民族衣装及び桐生織物資料の保管
- ・当法人HPによる各種情報の発信

(2) 事業収支

(単位：円)

収入の部		支出の部	
桐生市補助金	758,000	防虫費	334,125
負担金（研修参加）	24,200	プロバイダー費	262,967
（事業参加）	1,738	謝金	110,220
法人会計からの繰入金	327	回線使用料	59,400
		旅費交通費	5,660
		通信運搬費	5,124
		消耗品費	4,316
		会議費	2,453
計	784,265	計	784,265

5. 産学官連携推進事業

(1) 事業概要

群馬大学理工学部、北関東産官学研究会が行う産学官連携推進の取り組みに対して当施設の無償貸与を行いました。また、産学官連携推進に関わるコーディネートを併せて行い、産学官連携強化に努めました。

①産学官連携推進の取り組みに対する当施設の無償貸与

- 群馬大学理工学部への無償貸与：4件
- 北関東産官学研究会への無償貸与
 - ・北関東産官学研究会 事務室使用（年間使用）に対する当施設の無償貸与
 - ・会議、セミナー開催などに対する当施設の無償貸与：8件

②産学官連携推進に関わるコーディネーター

根津参与（北関東産官学研究会 会長）が、相談企業に対し、大学関係者や各種支援機関を紹介するなど、産学官連携推進に関わる各種コーディネート業務を行いました。

実施期間 令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日

(2) 事業収支

(単位：円)

収入の部		支出の部	
桐生市補助金 (管理運営費補助金より支出)	0	人件費	0
計	0	計	0

6. 地域産品展示販売事業

(1) 事業概要

当センター1階に地域産品を一堂に集めた「展示販売コーナー」を開設し、地域産品の展示紹介および販売を行いました。また、他地域での販売やインターネット販売なども行い、地域産品の普及PRに努めました。なお、「じばさん市」や「じばさん月の市」などの販売イベントの開催については、コロナウイルス感染防止の為、止む無く中止しました。

① 展示販売コーナー

営業日 休館日（月曜日）、年末年始を除く毎日

営業時間 9時～18時

※令和3年度は、コロナウイルス感染症対策として営業時間を短縮。（10時～17時）

取扱業者 111社

販売品目 約500種類

販売員 3名（パート職員ローテーション勤務）

② イベント開催（コロナウイルス感染防止の為、以下のイベントを中止しました。）

I. じばさん夏の市

7月10日（土）・11日（日）に開催する予定でしたが中止しました。

II. じばさん冬の市

12月11日（土）・12日（日）に開催する予定でしたが中止しました。

III. じばさん月の市

毎月第2土日に開催する予定でしたが中止しました。

③ 外部販売等

燕三条地場産センター販売フェアへの委託販売による参加等

④ インターネット販売

ショップ名 織物の街・桐生の逸品オンラインショップ

販売品目 桐生市・みどり市で製造されたマスク、小物などの繊維製品（約100種類）

⑤ マフラーおよびストールの展示

目的：「マフラー&ストールの街・桐生」ブランド化の推進

展示場所：1階「展示販売コーナー」内展示ブース

展示品：桐生地域内で製造されたマフラーおよびストール計60点程度

出展業者：22社

期間：5～9月の間は春夏物を展示／10～3月の間は秋冬物を展示

実施期間 令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月 31日

(2) 事業収支

(単位：円)

収入の部		支出の部	
販売手数料	3,773,337	仕入費用	440
法人会計からの繰入金	222,935	人件費	2,392,155
		消耗品費	493,192
		印刷製本費	271,150
		賃借料	218,006
		委託費	213,906
		通信運搬費	124,080
		広告宣伝費	122,100
		手数料	108,343
		修繕費	31,900
		負担金	18,000
		会議費	2,200
		旅費交通費	400
		租税公課	400
計	3,996,272	計	3,996,272

令和3年度
収益事業報告書

公益財団法人 桐生地域地場産業振興センター

令和3年度 食堂・喫茶事業 収入実績

	事業収入	前年度事業収入	対前年度 収入額	対前年度比
4 月	25,489	20,618	4,871	123.6%
5 月	31,153	11,641	19,512	267.6%
6 月	33,546	21,099	12,447	159.0%
7 月	41,366	23,881	17,485	173.2%
8 月	25,559	27,926	▲ 2,367	91.5%
9 月	22,368	25,151	▲ 2,783	88.9%
10 月	33,654	25,299	8,355	133.0%
11 月	35,328	28,695	6,633	123.1%
12 月	28,678	22,386	6,292	128.1%
1 月	23,392	22,686	706	103.1%
2 月	26,886	19,950	6,936	134.8%
3 月	41,863	24,967	16,896	167.7%
合 計	369,282	274,299	94,983	134.6%

売上額(月平均)	
令和3年度	¥30,774
令和2年度	¥22,858

令和3年度 施設利用促進事業 収入実績

(公財)桐生地域地場産業振興センター

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			半期合計		
	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率
第1ホール	4	327,690	48.7%	5	259,875	39.2%	25	640,860	40.8%	28	846,780	45.0%	29	798,820	42.6%	26	966,790	47.8%	117	3,840,815	44.2%
研修室	0	-	0.0%	1	19,316	2.9%	1	9,636	0.6%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	1	19,316	1.0%	3	48,268	0.5%
第2ホール	1	113,850	16.9%	1	81,730	12.3%	24	689,920	43.9%	30	806,080	42.8%	30	845,240	45.1%	25	754,050	37.3%	111	3,290,870	37.9%
情報室	0	-	0.0%	1	19,316	2.9%	1	4,950	0.3%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	2	24,266	1.2%	4	48,532	0.6%
交流室	0	-	0.0%	1	27,632	4.2%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	1	27,632	1.4%	2	55,264	0.6%
特別室	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%
常設展示コーナー	0	-	0.0%	1	26,400	4.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	1	26,400	0.3%
技術室	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%
開発室	-	213,840	31.8%	-	213,840	32.2%	-	213,840	13.6%	-	213,840	11.4%	-	213,840	11.4%	-	213,840	10.6%	-	1,283,040	14.8%
その他	-	17,420	2.6%	-	15,490	2.3%	-	13,020	0.8%	-	14,940	0.8%	-	18,120	0.9%	-	14,680	0.7%	-	93,670	1.1%
合 計	5	672,800	100.0%	10	663,599	100.0%	51	1,572,226	100.0%	58	1,881,640	100.0%	59	1,876,020	100.0%	55	2,020,574	100.0%	238	8,686,859	100.0%
前年同月合計	—	581,120	—	—	313,160	—	—	349,286	—	—	516,166	—	—	416,586	—	—	688,735	—	—	2,865,053	—
前年同月比(%)	—	115.8%	—	—	211.9%	—	—	450.1%	—	—	364.5%	—	—	450.3%	—	—	293.4%	—	—	303.2%	—

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			年間合計		
	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率	件数	使用料	使用料率
第1ホール	26	934,670	46.9%	13	442,750	41.6%	5	333,828	47.0%	12	592,471	41.4%	10	445,698	36.0%	8	359,403	32.1%	191	6,949,635	42.7%
研修室	2	18,810	0.9%	0	-	0.0%	1	6,468	0.9%	2	23,936	1.7%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	8	97,482	0.6%
第2ホール	27	799,810	40.1%	14	359,920	33.8%	3	80,300	11.3%	9	296,670	20.8%	9	275,088	22.2%	8	242,264	21.6%	181	5,344,922	32.9%
情報室	2	18,810	0.9%	2	22,792	2.1%	1	9,900	1.4%	1	18,788	1.3%	3	31,438	2.5%	3	25,388	2.3%	16	175,648	1.1%
交流室	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	1	27,104	1.9%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	3	82,368	0.5%
特別室	0	-	0.0%	1	12,375	1.2%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	1	12,375	0.1%
常設展示コーナー	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	0	-	0.0%	1	26,400	0.2%
技術室	0	-	0.0%	0	-	0.0%	4	38,632	5.4%	24	231,792	16.2%	24	231,792	18.7%	27	260,766	23.3%	79	762,982	4.7%
開発室	-	213,840	10.7%	-	213,840	20.1%	-	213,840	30.1%	-	213,840	15.0%	-	213,840	17.3%	-	213,840	19.1%	-	2,566,080	15.8%
その他	-	9,240	0.5%	-	13,380	1.2%	-	27,380	3.9%	-	24,280	1.7%	-	41,270	3.3%	-	17,780	1.6%	-	227,000	1.4%
合 計	57	1,995,180	100.0%	30	1,065,057	100.0%	14	710,348	100.0%	49	1,428,881	100.0%	46	1,239,126	100.0%	46	1,119,441	100.0%	480	16,244,892	100.0%
前年同月合計	—	1,001,075	—	—	1,118,004	—	—	666,902	—	—	841,190	—	—	1,044,224	—	—	567,279	—	—	8,103,727	—
前年同月比(%)	—	199.3%	—	—	95.3%	—	—	106.5%	—	—	169.9%	—	—	118.7%	—	—	197.3%	—	—	200.5%	—

※上記の金額は、税込表示となっています。

桐生市繊維振興協会事務業務 受託事業

事務局業務手数料：350,000円

桐生市内13繊維団体の連合組織「桐生市繊維振興協会」事務局業務を受託したもの。
具体的には、事業計画の策定のほか、合同新年会の開催、視察研修の企画・実施など
事業の運営全般を行ったもの。